

東京農大福島イノベーション・コースト研究プロジェクト

～ 大学の専門的知見をフル活用した浜通り地方の復興から地域創生へのシームレスな支援モデル構築

2019年度補助事業の実績・成果

 **東京農業大学**



連携市町村：相馬市(2018年12月20日連携協定締結)

現地拠点：福島県相馬市塚ノ町

事業の ポイント

- 8年間の「東京農大東日本プロジェクト」の実績を活用した支援事業
- 技術系+経営系という車の両輪で駆動させる幅広い課題解決
- 行政・NPO・農協・森林組合・農業法人・個人などの幅広いネットワークの活用

技術系+経営系の6分野における研究活動の成果

①森林環境回復

相馬市の森林において間伐を実施し、その前後の林内相対照度の比較、植生調査、土壌・植物のサンプルを採集

②森林・農地境界の環境回復

相馬市内の放牧地において、UAV(ドローン)を用いて空間線量率のマップを作成し、除染の有無と線量率を可視化

③地域資源での農地の環境回復

相馬市で排出される乾燥汚泥肥料について、窒素、リン酸肥料としての肥効を確認。有害重金属も基準値以下

④農村空間の環境回復

浪江町の森林・河川・牧草地において、飛翔性昆虫類、地表徘徊性昆虫類、ミズ類の放射性セシウムと空間放射線量率との関係を明らかに

⑤野生動物の環境回復

阿武隈山地北部でのカメラトラップと遺伝試料トラップによるモニタリング調査を実施。ツキノワグマ1個体が鮮明に撮影された

⑥マーケティング活動支援

JAふくしま未来の農産物直売所において消費者行動調査を実施。加工品より農産物で価格が重視される傾向

高校生と農業者に対する教育・人材育成活動の実績

①サマースクールの実施

小高パイオニアヴィレッジを拠点に、地元高校生向け教育活動として4講座からなるサマースクールを開講。原町・相馬・相馬農業の3校より生徒が参加し、学生とのフィールドワークと発表会を実施



②農業経営人材の育成

「もう一歩踏み出すための農業経営セミナー」として、地元農業者と学生を対象とした経営戦略に関する講義と実習を相馬市で開催



③6次産業化商品開発支援

学生が相馬市産大豆の商品企画アイデアをカリキュラム内で立案し、相馬市での活動報告会で発表。来場者の投票によるコンテストを実施

